



2004 ~ 2005 年度  
R I テーマ

# CELEBRATE ROTARY ロータリーを祝おう

国際ロータリー会長 グレン E. エステス・シニア (国籍・アメリカアラバマ州)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分  
ところ トキ八別府店 7 F ぼたんの間  
TEL 23-1111  
事務所 別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F  
〒 874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	梅津ヤヨイ	役員	会長	森 宗明	S A A	梅津ヤヨイ
"	溝部 仁	"	木村きぬ系		副会長	後藤健介		
"	村津忠久	"	大島由美子		幹事	上妻 浩		
"	平野英壽				会計	岩尾昭治		

VOL . 17 - 21  
2004 年 12 月 7 日

## 第 755 回 例会

会報委員長 近藤 賢司

点 鐘 12 : 30

体 操 自律神経強化体操

国 歌 君ヶ代

R . S . 奉仕の理想

唱 歌 星の界

B . G . M 「オーケストラで綴る  
日本の愛唱歌」より  
月の沙漠  
花かげ  
五木の子守唄 他

### 出席報告

委員長 衛藤 秀子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	26 名
	出 席 者	16 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
出 席	欠 席 数	7 名
	出 席 率	64 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	64 %
	事後メイクアップ	9 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	0 名
11/16	修 正 出 席 率	100 %
連 続		1 回
通 算		686 回 100 %

### ・メイクアップ

事前 岩尾、溝部 (別府)  
事後 溝部 (地区大会)、葉真寺 (大分1985)  
椋田、河村、小川、大島、津末、衛藤、  
土谷 (別府)  
欠席 平野、椋田、河村、木村、小川、津末、  
後藤(孝)

なにかできるといいなと思います。飲み会でも  
いいかな。例会終了後に隣のレストランで三々  
五々集まってはくだらない話が多いですが、ち  
よこちょやっていますので、時間がある方は  
立ち寄ってください。これも楽しゅうございま  
す。鳴海先生に怒られそうですが、まずは親睦  
ありき、友達になりましょう。私は個人的に口

### 会長の時間

会長 森 宗明

- ・12月5日 城島にてゴルフコンペ開催・結果は別紙
- 1. 土谷親睦委員長のいたれりつくせりのお世話に感謝。
- 2. 打ち上げに参加していただいて参加賞までいただいた村津会員に感謝。
- 3. 当日台風の様なすごい風で、それでも前日の大雨が嘘のようなお天気でした。改めてみんなで何かする、ロータリーの会員で何か行事をすることの楽しさを味わいました。親睦委員長にはお世話をかけますがよろしく願いいたします。特に新入会員の参加できるような行事が



ーターリーでの13年を一生の宝物と本当に思っています。ご縁をいただいた村津会員にそして私の様なものを13年間おつきあいしてくださっている会員諸氏に改めて感謝します。

**幹事報告**

幹事 上妻 浩

- 家族月間 -

1. 本日の卓話

『大東亜戦争への道』 後藤健介会員

2. ローターリー適用相場の変更

12月1日より、全ての振込みに対する適用相場（ロータリーレート）が下記のように変更されますのでお知らせ致します。

1ドル 104円 （現行108円）

3. 12月5日（日）9：00～城島後楽園カントリークラブに於いて親睦委員会主催『第1回親睦ゴルフコンペ』を開催致しました。

参加者：森 宗明、後藤孝弘、後藤 隆、河村貴雄、近藤賢司、吉富今男、上妻 浩 各会員

4. お祝い

結婚記念日 鳴海 淳郎会員（12月12日）  
\*ご自宅にお花が届きます。

5. 例会変更のお知らせ

大分1985RC 12月13日（月）の例会は、新入会員歓迎会並びに創立20周年記念打ち合わせの為 同日18：00～割烹にしおかに時間・場所変更

大分臨海RC 12月20日（第3月）の例会は、年次総会・ロータリー創立100周年記念年末親睦家族会の為 12月24日（金）18：30～大分全日空ホテルオアシスタワー5Fに開催日・場所変更

大分1985RC 12月20日（月）の例会は、年末チャリティー家族の会の為 同日18：30～トキハ会館5Fに時間・場所変更

中津RC 12月22日（水）の例会は、忘年例会の為 同日18：30～ホテルサンルート中津に時間変更

湯布院RC 12月22日（水）の例会は、友愛例会の為 同日12：30～事務局（喫茶クリケット）に場所変更

大分中央RC 12月22日（水）の例会は、クリスマス家族会の為18：30～大分第一ホテルに時間変更

大分城西RC 12月22日（水）の例会は、クリスマス家族会の為 同日18：30～大分全日空ホテルオアシスタワー5Fに時間変更

6. 本日例会終了後、13：40～『第6回定例理事・役員会』を開催致します。

7. 次週の予定

「年次総会」

8. 本日の回覧

「年次総会」（12月14日例会）出欠席  
中津RC、宇佐RC、くにさきRC 週報

9. 本日の配布

ロータリーの友12月号

週報754号

「ロータリーの引力」

（R情報委員長：鳴海淳郎）

**スマイルボックス**

委員長 葉真寺章三

森会長

一昨日の日曜日、会員7名でゴルフをしました。お世話下さった土谷親睦委員長にお礼を申し上げます。

上妻会員

強風下でしたが、楽しいゴルフでした。スコアはほぼ全員が不本意だったと思います。

吉富会員

先日、我がクラブのゴルフコンペに参加致しました。ゴルフを健康管理の為のスポーツと位置付けし、スコアはさることながら楽しいコンペでした。



後藤(隆)会員

5日のクラブゴルフコンペに出席しました。「森会長にだけは負けることはない。」と思っていたのですが大差で負けてしまいました。もうゴルフやめよっと!!

近藤会員

ロータリークラブで楽しいゴルフを致しました。森会長にケチョンケチョンに言われた程ヒドイゴルフでしたが、そこはダブルペリア方式で準優勝をゲットすることができました。また参加したいと思います。

村津会員

5日曜日、城島カントリークラブで行われた「わがクラブ懇親ゴルフコンペ」には「第九の練習」の為、参加出来ませんでした。夜の「懇親のみ会」には参加させて頂きました。楽しい一夜、楽しい友と、楽しい酒を飲みながら、やわらかい話が出来たことに感謝してスマイル。

佐藤会員

ゴルフの帰りに皆様お店へ立ち寄って下さり有り難う御座いました。又、後藤健介さんの卓話楽しみにしています。田舎にそだったせいであまり戦争の苦しみがありません。

梅津会員

12月5日曜日「大塚博堂生誕60周年メモリアルコンサート」「博堂...空から舞い降りた」博堂第二のふるさとである博多の『ブルーノート』ここは世界のジャズ等のミュージシャンが出演するステージで行われ、東京や名古屋のファンの方もかけつけ、満席の中の良いムードの二時間でした。別府の浜田市長他2名の方もかけつけていただきメッセージをいただき、最後迄席を立たれる事もなくよるこんでいただきました。その上別府観光の宣伝も出来、ほんとうに良いコンサートが出来ました。これもいついつまでものファンの皆様のおかげと感謝してスマイルスマイル。

衛藤会員

いよいよ先生も走る師走、私も毎日あわただしくしています。もういくつ寝るとお正月と歌っていた頃がなつかしいです。

葉真寺会員

本日、途中退席いたします。その代わりといっちはなんです、盲導犬チャリティーバザーに好評なワインをもてる限り持ってまいりました。おわびのスマイル致します。

卓話

『日露戦争百周年に想う』

後藤 健介



日本海大海戦 その3 -

「百発百中ノ1砲、能ク百発1中ノ砲百門ニ対抗シウルヲ覚ラバ...」

ここで日露両艦隊が対馬東水道で接敵する直前のロシア艦隊の陣形について述べておきたい。午前10時過ぎ、片岡艦隊はバルチック艦隊に接触すると羊の群を追う牧羊犬のように執拗にバルチック艦隊にまとわりつき喰い下がった。ロゼストウンスキー司令長官は、主敵とすべきは東郷艦隊であり、当面する敵艦隊は無視する方針で前進を続けたが、7ヶ月余に及ぶ大航海の末にやっとめぐりあった日本艦隊が射程距離すれすれの目前を行動するのに業を煮やした1戦艦がロゼストウンスキー司令長官の射撃命令も待たずに発砲したのである。これに誘発されたように全艦船が勝手に砲門を開いた。ロゼストウンスキー司令長官は烈火の如く怒り、ただちに射撃中止を命ずるとともに射撃のために乱れた艦隊の陣形を整え直すように命じたが、陣形修正の途中で東郷艦隊主力に接触することになったのである。東郷艦隊からみれば、バルチック艦隊は不規則な2本又は3本の矢の束になって北上してくるようみえたのである。

東郷艦隊の主力である第1戦隊(三笠以下戦艦6隻)、上村艦隊の主力第2戦隊(出雲以下装甲巡洋艦6隻)の片舷127門の主砲、副砲が敵艦隊の先頭を行く旗艦スワロフと第2旗艦ともいうべきオスラーピアに集中射撃をあげせた。東郷司令長官は午後2時10分、はじめて射撃を命じたが、30分後には敵戦艦スワロフとオスラーピアは戦闘力を失ってしまった。ロゼストウンスキー司令長官も重傷を



負い、旗艦スワロフは艦隊の有力な指揮手段である無電装置が砲弾で破壊され、舵を取る舵機も破壊され、かろうじて沈没はまぬがれているものの艦隊の旗艦としての指揮も戦闘も不可能になった。旗艦スワロフと第2旗艦オララーピア（沈没）の戦闘力喪失によって、バルチック艦隊は大混乱に陥り、艦隊としての統一した戦闘は不可能になった。各艦船は各個バラバラに日本艦隊と戦うことになる。ロシア艦隊は手負い猪のようになって北へ向かって逃走を試み、東郷艦隊は巧みな艦隊運動をもって、それを扼しつつ砲弾を浴びせ続けた。

#### 肉を切らして骨を断つ

東郷司令長官捨て身の陣頭指揮両艦隊による主力決戦の間、東郷司令長官は三笠艦橋に仁王像のごとく立ちつくしたまま艦隊の指揮をとった。

艦橋（ブリッジ）は、いわば露台で吹きさらしである上に、戦闘中は砲弾が飛び交い、炸裂した砲弾の破片がそのあたりの人員を薙ぎたおしてしまう公算が高い。そのために司令塔という装置がある。司令塔に入ると視野が制限されるとはいえ、しかしそれを囲んでいる、ぶの厚い装甲（約36cm）が戦闘中指揮官の生命を守ってくれるはずであった。

聯合艦隊の旗艦三笠のメイン・マストにZ旗が揚がった直後、秋山参謀は東郷司令長官に対し「司令塔の中に入って下さい」と頼んだのである。が、東郷司令長官はかぶりをふった。「ここに居る」といった。加藤参謀長も「ぜひ」といって重ねて頼んだが、東郷司令長官は動かず、命令のかたちで「自分は齢をとっているから、老い先から考えて、どこでどうなっても知れている。だから艦橋に居る。みなのは塔の中へ入れ」といった。

開戦ともなれば、先頭艦であるこの三笠に敵の砲弾は束になって集中するであろう。東郷司令長官は、おそらくこの戦役におけるこの最終決戦において自分の生命は終わると覚悟していたのであろう。「肉を切らして骨を断つ」すさまじいばかりの覚悟である。

加藤参謀長は、東郷司令長官の不退転の覚悟がよくわかった。加藤参謀長、秋山参謀、砲術長の安部少佐、測距儀を操作している長谷川少尉（のち大将）が艦橋に残り、他の幕僚は砲塔内に入った。

敵前一斉回頭を了えた東郷艦隊に司令長官が最初の射撃命令をくださったのが午後2時10分であった。主力戦艦同士の昼間戦闘の終了を命じたのは午後7

時10分である。約5時間に及ぶ死闘ののち、バルチック艦隊の決戦戦力である新式戦艦5隻のうち4隻までが沈み、他の艦船は手負い猪のようになって夜の闇にまぎれウラジオへと逃走をはじめた。落武者狩りを駆逐艦、水雷艇群に託した東郷艦隊主力は敵の残存艦隊の前途を扼す態勢をとるため一夜、高速力でウラジオストック方向へ移動した。

日露両艦隊が死闘をくりひろげる海上で、夜の闇が迫って来た。戦場の主役の交代である。駆逐艦、水雷艇の登場である。両艦隊主力戦艦による決戦がおこなわれている間は戦場の外縁で風浪とたたかいながら待機していた駆逐艦21隻、水雷艇40隻は傷ついた獲物を狙う狼のごとく夕闇の中を敵艦を求めて動き出した。重装甲の敵艦を沈めるには砲弾をいかに集中しても困難で、吃水線下に魚雷をぶちあてることによってそれが可能とされていた。日本の駆逐艦群は27日から28日にかけての終夜、敵主力艦をもとめて戦場を駆けまわり落武者を狩るように魚雷攻撃により敵主力艦にとどめを刺していった。

#### スエズ運河とバルチック艦隊

バルチック艦隊の航路が何ゆえに灼熱下のアフリカ大陸廻りにとられたのか、不思議に思う読者も多からう。当時すでにスエズ運河は開通していたのである。

日露の衝突不可避とみた日本海軍は山本権兵衛海軍大臣の下に一大拡張整備に乗り出した。主力戦艦を英国、イタリア等の先進造船国に発注したのであるが、当時の海軍界の常識では戦艦は1万トン内外であった。その常識を破って日本海軍は1万3千トン～1万5千トンの戦艦を発注したのである。当然、ロシア海軍も対抗上、新造戦艦を1万3千トン～1万5千トンの規模にした。

ところが、当時のスエズ運河の通航可能な艦船規模は1万トン内外であった。即ち日本海軍の仕掛けに応じたロシア艦隊の主力艦はスエズ運河を通航不可能であり、やむなく希望峰（ケーブタウン）廻りにせざるを得なかったのである。

山本権兵衛海相以下日本海軍の深謀遠の策であった。降って1980年代、アメリカのレーガン政権は戦略防衛構想（SDI）を発表、いわゆるスターウォーズへの軍備大拡張競争にソ連を引きずり込み、国家財政を破綻させ冷戦に勝利をおさめたが、その難形は日露海軍拡張計画にあったのではなからうか。